学校番号	3009

令和８年度　工業科（建築系）

教科	工業科（建築系）	科目	建築計画	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『建築計画』（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築物をとりまく環境について考え、建築物の内部を快適にするための諸要素について理解させる。また、住宅を計画するうえで、役割・種類・構成・性能を考慮し、計画の順序・企画方法について学ばせる。集合住宅、商業建築、公共建築については、各形式と特徴や留意点を理解させて、建築物を計画する際に適正な判断ができる知識を習得させる。また、建築設備については快適で能率的な生活環境をつくりだすための重要な要素であることを理解させ、基本的な事項を重点的に理解させる。都市計画については建築とまちづくりについて法的なルールを基に、地域の特性や環境づくりについて理解させ、建築法規の知識とつながるようにする。

2　学習の到達目標

建築の意義と建築計画の位置づけや流れを理解し、建築と環境、各種建築物の計画、都市計画、建築設備について、基礎的な知識と技術を習得する。そして習得した知識を他者に伝える説明力を養うことで人間性の向上を図る。また他者へ伝えることを目的として主体的に学びに向かう力の育成も図る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	設計及び建築技術者に必要な基本的な建築計画の知識を身に付け、建築物を合理的に計画し、その技術を適切に活用する能力を身に付けている。	設計及び建築技術者として必要な課題の解決力と思考を、建築計画の基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し表現する能力を身に付けている。	建築計画に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	住宅の計画・各種建築物（集合住宅・事務所・公共建築）の計画	1．建築計画の概要 2．住宅の種類と構成 3．住宅の法規上の制限 4．住宅の予算計画 5．住宅の基本・全体計画 6．住宅の共同的な空間 7．住宅の個人の生活空間 8．住宅のプランニング	a:住宅に関する基本的な知識を付け適切に活用している。 b:住宅に関する設計及び建築技術者に必要な思考力、適切な判断力、表現力を身に付けている。 c:住宅に関する課題に関心をもち、主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出ノート
		1．集合住宅の意義 2．集合住宅の形式 3．集合住宅の平面計画 4．集合住宅の避難計画 5．事務所の意義 6．事務所の配置計画 7．事務所の平面計画 8．事務所の防災・避難計画 9．学校の全体計画 10．学校各部の計画	a: 各種建築物に関する基本的な知識を付け適切に活用している。 b: 各種建築物に関する設計及び建築技術者に必要な思考力、適切な判断力、表現力を身に付けている。 c: 各種建築物に関する課題に関心をもち、主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出ノート
後期	都市と地域の計画・建築設備の計画・建築史	1．都市をつくる都市計画 2．都市計画の意義 3．地域の計画 4．都市計画法・建築基準法 5．建築設備の目的 6．建築設備の基本事項 7．給水・排水設備 8．給湯・ガス・電気設備 9．浄化槽・空気調和設備 10．暖房・換気設備 11．消火・警報設備 12．避難・搬送設備	a:都市計画及び設備計画に関する基本的な知識を付け適切に活用している。 b: 都市計画及び設備計画に関する設計及び建築技術者に必要な思考力、適切な判断力、表現力を身に付けている。 c: 都市計画及び設備計画に関する課題に関心をもち、主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出ノート
		1．建築の移り変わり 2．日本の建築 3．神社・仏閣 4．西洋の建築 5．近代建築	a: 建築の移り変わりに関する基本的な知識を付け適切に活用している。 b: 建築の移り変わりに関する設計及び建築技術者に必要な思考力、適切な判断力、表現力を身に付けている。 c: 建築の移り変わりに関する課題に関心をもち、主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度